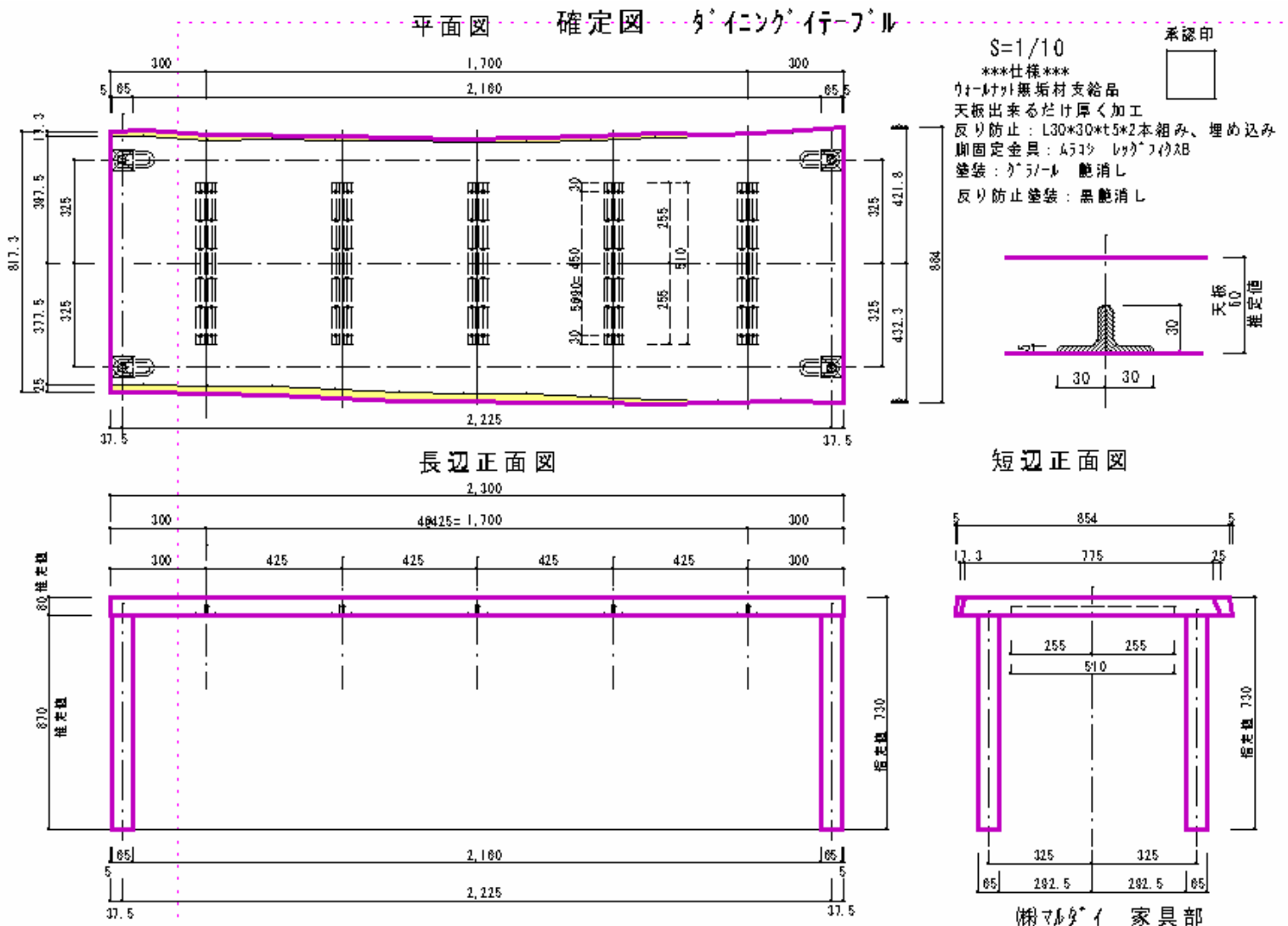


無垢板のダイニングテーブル、リビングテーブルの製作について

無垢板のテーブルの製作にあたり、デザイナーからはスマートに見せたいとの要望が多く、さらに肘掛チェアの肘部がテーブル下に入るようにしたいということで天板下に幕板を回すことができなくなります。それにより幕板を回し、コーナー部に火打ちを付けての脚固定が難しくなります。このような問題をクリアするため、今回は脚の取り付け方法で金物を使用してみました。さらに、反り防止対策として鋼製等辺アングルを埋め込むことに致しました。

1. ダイニングテーブル

ウォールナットの原板を採寸して下図のように製作図を描きました。

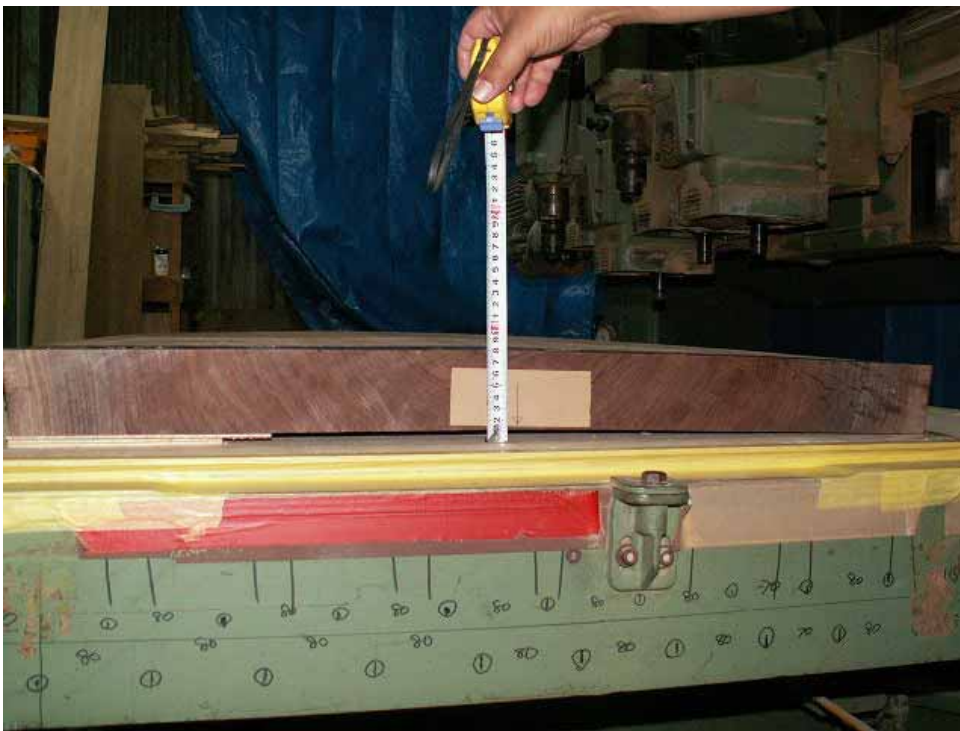




ウォールナット原板状況です。

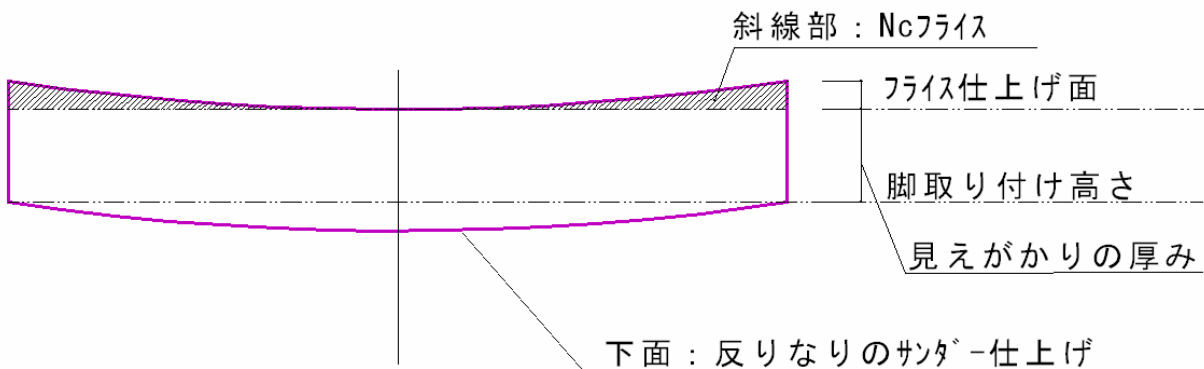


脚部木取りで 4 本でいいのですが、
予備も確保しておきました。



天板を NC 加工台に木表を下にして反り具合を測定しました。
画像では上面が下になっています。

天板反り状況





NC フライス加工状況です。



天板表側のフライス加工済み。
ワイドサンダー掛け完了。



天板小口下面の板厚の不揃いが確認
できます。
(上面は直線、下面はうねっています。)



脚金物のザグリ状況です。(左写真は浅めです。右写真は深めです。)板厚が不均等のためですが、あくまでも床面からの天板までの高さが730になるように設定しています。



反り防止の30*30*t5の等辺アングル鋼の取り付け部のザグリです。



脚金物：ムラコシ製 レッグFixBです。
結構、しっかりと接合できます。

等辺アングル鋼の取り付け状況です。



脚固定状況です。テーブルが重たく、起こし易い態勢で組み立てています。



肘掛チェアの肘が天板下に入ります。

テーブル下はご覧のようにスッキリしています。



テーブルセット完了です。



こんな具合にダイニングテーブルが白い部屋を演出しています。

2. リビングテーブル

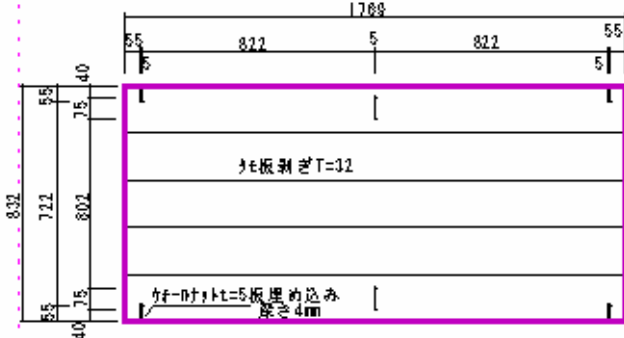
このリビングテーブルは掘り座卓となっています。また、ローテーブルとしても変化するリバーシブルなリビングテーブルです。天板はタモ柾目無垢剥ぎ板で、脚はウォールナット無垢材で構成されています。現場では、炉縁取り付けが先行しますので炉の採寸後、テーブルサイズが確定します。なお、炉縁の精度と脚の納まり具合の確認のため、NCにて脚位置の型紙ベニヤを作成し、現場の炉縁に合わせて確認後製作に入りました。下图が製作図面です。

確定図 リバーシブルリビングテーブル

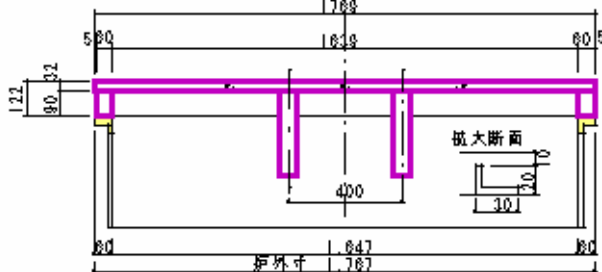
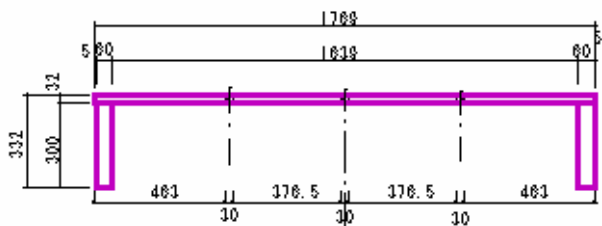
S=1/15

承認印

天板平面図

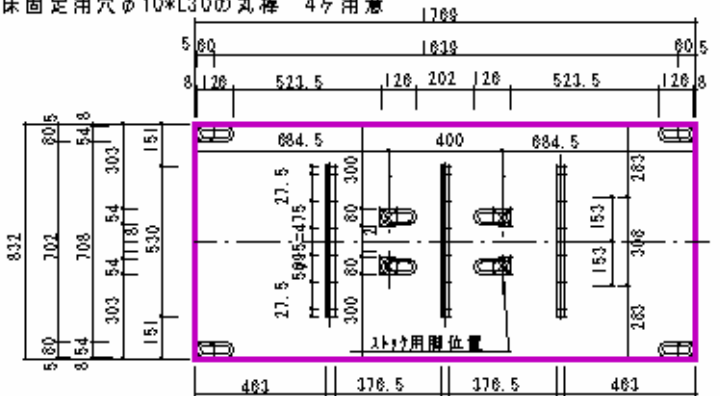


長辺断面図

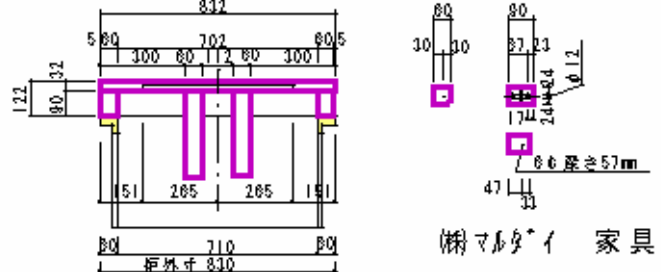
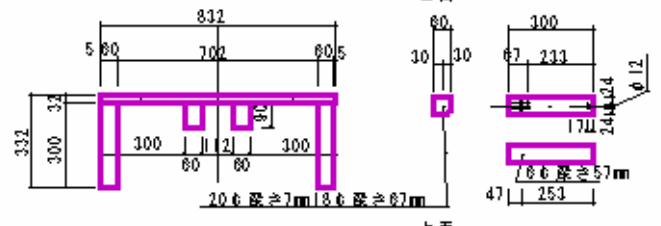


仕様

天板：タモ柾目無垢板剥ぎ
脚：ウォールナット無垢材（支給）
脚固定金具：4531 レッグフィッティング 天板は1枚脚 2種規
塗装：ウレタン 艶消し
反り止めフレーム（支給）
床固定用穴φ10×L30の丸棒 4ヶ用意



短辺断面図

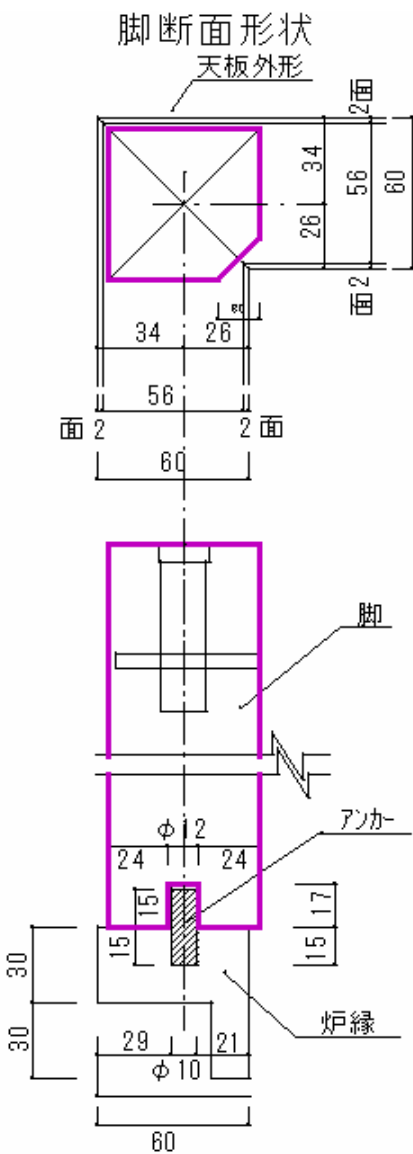


㈱マルタイ 家具部



炉縁と脚との位置関係のチェック。

NC で型紙作成し、確認の上、製作を開始しました。



脚固定アンカー 10 の取り付け状況。

脚の内側に面取りを付けることで、炉縁枠と脚とに多少余裕を持たせてました。



反り止め等辺アングル鋼の固定状況。
ムラコシ製脚固定金具レッグ FixB の
取り付け状況です。



ローリビングテーブル脚の組み立て
です。



後日、リモコン収納を取付ました。



リビングテーブル脚の組み立てです。
中央部は短尺脚の保管場所です。

短尺脚の保管位置の取り付け状況。



アクセント柄のウォールナットです。
6箇所あります。

リビングテーブルのタモ柾目無垢
剥ぎ加工状況です。
脚はウォールナット無垢材です。



リビングテーブルの収まり状況。



手前は 150 * L1312 のボルスター
です。



このリビングテーブルもこのリビングの
大事なパートを演出してます。

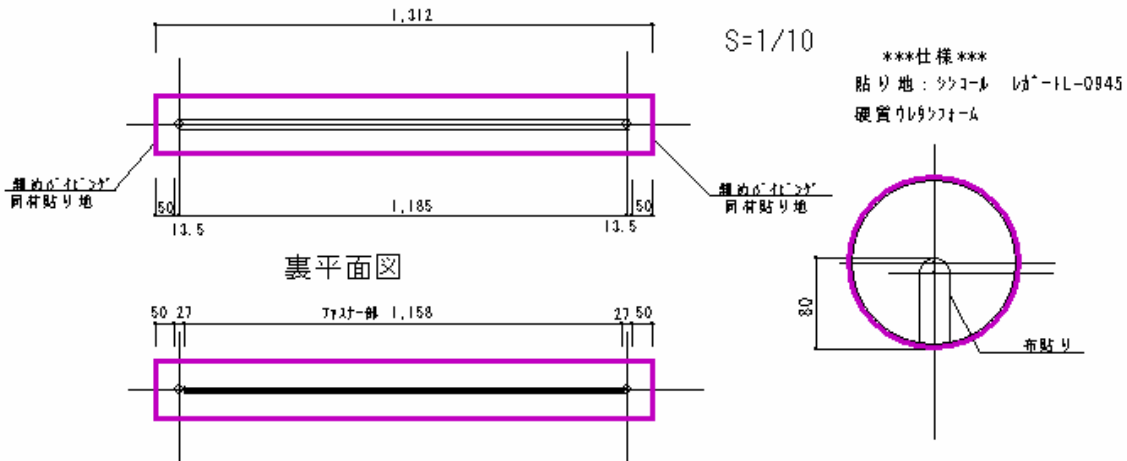


最後に ボルスター：円筒形のクッションという意味らしい。
 150 * L1312 の合皮のクッションです。
 くつろぎの有効な背もたれになりそうです。

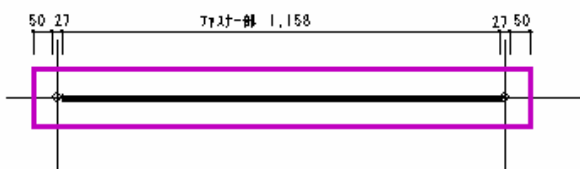
平面図

確定図

ボルスター加工図



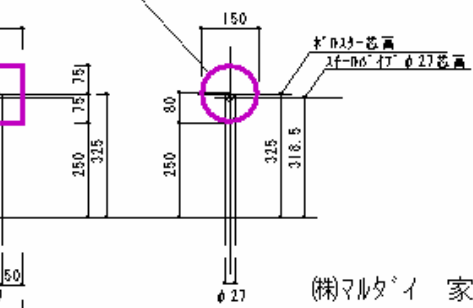
裏平面図



縦断面図



横断面図



(株)マルダイ 家具部 Da・Monde 鈴木
 平成 21 年 8 月 29 日